

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況 (1月分) について

2026年1月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	14,251,133	11,434,738	124.6%
国内旅行	9,309,791	8,596,229	108.3%
訪日旅行	83,065	97,428	85.3%
合 計	23,643,989	20,128,395	117.5%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額236億4,398万9千円、前年同月比117.5%となりました。

海外旅行は、2026年1月の出国日本人数が2019年同月比で73.9%となり、前月より2.1ポイント低下するなど、市場の回復にやや停滞が見られます。

こうした中、当社では各方面でデラックスホテルを利用する付加価値型商品の拡充を進めるとともに、欧州やエジプト、ハワイ、および日本発着クルーズの募集告知を強化しました。

その結果、エジプトではナイル川クルーズとラグジュアリーホテルを組み合わせた商品が堅調に推移しました。ハワイでは訴求力のある価格帯のキャンペーン商品に加え、プレミアムエコミーを利用する商品が好調で、取扱人数が前年比で倍増しました。日本発着クルーズでは、沖縄・那覇港を拠点とした「フライ&クルーズ」が好調で、前年を大きく上回りました。また、欧州ではジュニアスイートや宮殿ホテルに滞在する周遊型商品が好調でした。

1月の海外旅行の取扱高は、142億5,113万3千円となり、前年同月比124.6%と前年を大幅に上回りました。

国内旅行は、観光庁が発表した「宿泊旅行統計調査(第1次速報)」によると、2026年1月の日本人延べ宿泊者数が前年同月比1.9%減となり、物価高による需要への影響がうかがえます。

こうした中、当社では温暖な沖縄の離島などの販売を強化するとともに、冬の味覚や新春のイベントを組み込んだ商品などで需要喚起に取り組みました。

その結果、沖縄では、離島周遊商品や当社主催の花火イベントと連動した体験型商品が好調に推移したほか、九州では、一度に2つの名湯を巡る商品や食をテーマとした日帰り商品が人気を博しました。また、歌舞伎観劇や大相撲初場所観戦、新春の参拝を組み合わせた商品により、関東も大きく伸長しました。

1月の国内旅行の取扱高は、93億979万1千円、前年同月比108.3%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,723,822	2,369,065	115.0%
国内旅行	163,233	160,998	101.4%
訪日旅行	1,034	1,627	63.6%
合 計	2,888,091	2,531,692	114.1%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額28億8,809万1千円、前年同月比114.1%となりました。

海外旅行は、中国情勢の影響により、中国方面の取扱いは減少したものの、他の方面の需要は底堅く推移しました。取扱高は前年同月比115.0%となりました。

国内旅行は、業務出張の下支えにより堅調に推移し、取扱高は前年同月比101.4%となりました。

2 社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	16,556,497	13,457,298	123.0%
国内旅行	9,447,413	8,532,587	110.7%
訪日旅行	84,099	99,055	84.9%
合 計	26,088,009	22,088,940	118.1%

※2 社間の取引を相殺したものです。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724